

マーケット つばやき板

日興アセットマネジメント
北原淳平さん



きたはら・じゅんぺい 住友信託銀行や東京海上アセットマネジメントを経て、2019年日興アセットマネジメント入社。これまで優れた運用成績で評価機関からの受賞多数。

守るも攻めるも オーナー企業は強し 「献身・誠実・尊重」投資にジーコの心を

2019年に日興アセットマネジメントに入社し、ファンドマネジャーとして投資信託「ミュータント」の運用を担当しています。前職から主な投資対象にしているのが中小型のオーナー企業です。コロナ禍のような逆風の時こそ、成長期待が大きいオーナー企業に投資する好機があるのです。

日本ではオーナー企業はマイナスのイメージもあるようですが、私がなぜ注目するのか。それは、オーナー企業にはサラリーマン経営者の企業にはない長所があるからです。

強みは素早い意思決定と中長期的な戦略です。経営判断には事業投資などの「攻め」だけでなく、不振の際はちゅうちょなく方向転換する「守り」も含まれます。サラリーマン経営者は任期中の利益確保や失敗回避に引きずられ、大胆な判断を下せず問題を先送りする傾向があります。なによりオーナー企業は経営者自身が株主なので、他のステークホルダーと同じ視点で中長期的な戦略をもとに利益を追求します。

以前は鉄鋼業界担当のアナリストでした。企業の目標株価を

算出するため定量分析を突き詰めました。いくら業績を正しく予想しても株価はその通りに動きません。自身の無力さを痛感し、数字の予想はコンピューターが向いていると気付きました。経営のリーダーシップの重みを感じる中で、人間にしかできないオーナー経営者との対話で、そのビジョンや成長性を見極める——。そんなファンドマネジャーに転身したわけです。

こうした運用スタイルで18年には日本株アクティブ投信でトップの成績を残しました。ミュータントも大きく上昇していま

す。ただ、ファンドマネジャーの仕事は顧客のリターンを1円でも多く出すことです。私が熱烈に応援する鹿島アントラーズのジーコの理念は「献身・誠実・尊重」です。これは投資先や顧客への姿勢にも通じると思います。現状に満足せず、逆風でもブレない投資哲学、運用方針が大切だと考えています。

(聞き手は阿部真也)



「マーケットつばやき板」は、金融関係者が市場と向き合う流儀を語るコラムです。随時掲載します。